

会議名称：平成30年度5月期古賀市社会教育委員の会議

日時：平成30年5月30日（水） 19時～20時30分

場所：古賀市役所 第2委員会室

主な議題：①図書館協議会委員選出

②第5回古賀市生涯学習笑顔のつどいについて

傍聴者数：なし

出席者：松本委員、松末委員、船越委員、角森委員、國友委員

上野委員、檜山委員、村山委員、井浦委員、平島委員

（以上委員10名）

青谷教育部長、中村生涯学習推進課長、柴田参事補佐、森田

欠席者：なし

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジュメ

会議内容：以下のとおり

松本議長：

定刻になりましたので会議を始めます。今年度になりまして二回目の会議となりますので、いよいよ実質的な協議に入ってまいりますのでよろしくお願いします。

それでは、「2. 図書館協議会委員選出」について事務局お願いします。

（図書館協議会委員選出依頼について、事務局より説明。）

松本議長：

図書館協議会委員選出について、教育長の方から依頼がっております。柴田参事補佐から現状と、新しい委員に関して事前協議をさせていただいておりますので、村山委員に新しく社会教育委員の中から選出された図書館協議会委員をお願いしてよろしいでしょうか。

（委員から、図書館協議会委員に村山委員を推薦することに賛成の声があがる。）

松本議長：

それでは村山委員よろしくお願いします。

では次に協議事項にうつります。「3. 第5回古賀市生涯学習笑顔のつどいについて」ということですが、この日につきましてタイムテーブルを本日の会議で決定したいと思います。また、サブテーマにつきましては、後で事務局から説明があるとは思いますが次回正式に決定したいと思います。それから役割分担につきましても、本日の会議で決定したいと思います。それでは事務局の方からお願いします。

(事務局から、第5回古賀市生涯学習笑顔のつどいタイムテーブルの原案についての説明。)

松本議長：

合計で何分くらいになりますか。

事務局：

現在の案では115分です。

松本議長：

ではまず、アトラクションの順番について原案に出ておりますが、紙芝居をオープニングにもってきて、締めということで皆さんで合唱して心を一つにして終わるのがいいのではという案ですが、ご意見ありますか。

(委員から賛成の声があがる。)

松本議長：

ではまず、紙芝居で始まって、最後はみなさんの大合唱で笑顔のつどいを終了するという構成でお願いします。それから実践報告の順番ですね、古賀すたいるさんを先にやって、青柳小学校区通学合宿を後に持ってくるという案ですが、これには何か事務局側の狙いがありますか。

事務局：

これは決まった順番ということにしておるんですけども、ちょっと補足があります。助言者のまとめということで、以前は古賀市教育委員会の伊丹指導主事にお願いますという話をしてたんですが、このぐらいの時期が学校訪問等々でなかなか対応が難しいということでしたので、今回は福岡教育事務所の萩尾先生という方に、助言者をお願いしようと思っております。萩尾先生につきましては、以前花見小学校で教鞭をとられたことがある先生で、昨年度は福岡教育事務所糸島地区の担当の社会教育主事をされておりました。今年度につきましては、こちらの粕屋地区の担当ということでしたので、お願いをしたいと思います。で、そういったこともありまして、古賀スタイルさんの選挙の話をしていただいた後に、通学合宿ってことで得意分野のほうが若干多めになるかと思いましたので、そういう意味合いで順番を書いております。

松本議長：

この順番に関してご意見等はありませんか。事務局から説明があったように、古賀すたいるという新しい発信活動というんですか、それについては萩尾先生も初めて聞かれるのではないかなと思うので、助言者ということからすれば、古賀すたいるさんの実践報告を聞いて、少し時間をおいてまとめて助言したほうが、助言者としてもやりやすいのではないだろうかという趣旨です。

それからカチカチ会については20分ほどかかりそうですが、持ち時間は15分ほどでということで要請しているということでよろしくお願いします。これで合計115分ということですので、少し延びても12時には終わります。

昨年度の反省で事務局から何かありましたらお願いします。去年実践報告は実質何分かかってますか。

事務局：

実践報告には2団体出ていただきましたが、各団体24分30秒ほどかかっております。

松本議長：

千鳥校区コミュニティと松原ネットでしたかね。それと反省として、発表には必ずパワーポイントを使っていたきたいと思います。それからスライドの写真数が多すぎて早口で頭が混乱することもありますので、事務局から時間の厳守と、パワーポイントで実践報告が見える形で報告していただきたいということと、来ていただいた参加者の皆さんが消化不良を起こさないようにスライドの枚数や発表のボリュームについては調整をしてもらうようにお願いします。他に何かありませんか。

國友委員：

確かに実践報告が少し長いなっていうのは気になりました。

松本議長：

他の委員さんはどうですか。

平島委員：

去年はパワーポイントがなかったので、聞くだけではちょっと苦しいかなと。かえって長く感じるし、やはり、見て、両方訴えないと難しいのかなと思いました。

松本議長：

活動は素晴らしいものでしたが、効果的に伝わる手法ということで考えれば、パワーポイントをぜひお願いしたいと思います。

事務局：

古賀すたいるさんは以前来ていただいたとおりすでにパワーポイントを作られてまして、青柳小学校区通学合宿につきましても現在パワーポイントで準備をされているということで聞いています。写真数の上限については今後打ち合わせをさせていただこうと考えております。

また、後ほど出てきますが、昨年の反省を踏まえまして、役割分担の部分にタイムキーパーという仕事をつけさせていただいております。

松本議長：

当日のスケジュールにつきましては事務局の提案どおりということで、昨年度の反省については事務局の方から伝えていただくということでよろしく申し上げます。

それでは次にサブテーマについて事務局から申し上げます。

(事務局からサブテーマに関して説明。6月15日の17時までにサブテーマの案を提出するように各委員へ依頼。)

松本議長：

この場で案を出して即決定というのは難しいため、今回の実践報告である古賀すたいるさんと青柳小学校区通学合宿の内容に即したテーマを6月15日の17時までに事務局の方へ提出していただき、6月の会議の中で、案を検討していただきたいと思います。自分の案にこだわらず、より良いサブテーマを10人で話し合っ、決めていきたいと思います。この件について何かご意見ありますか。

事務局：

この件に関連した内容でもう1点連絡をさせていただきます。毎年笑顔のつどいではオープニング映像を作成して流させていただいております。今年もオープニング映像を作成して流したいと考えております。委員さん方に、写真の収集をご協力いただきたいと考えております。こちらサブテーマの案と同じく、6月15日の17時までに事務局へ提出をお願いします。

松本議長：

子ども大人に限らず、地域の中で、職場の中で古賀市民の皆さん、古賀市で働いている皆さん、古賀市の学校に通っている子どもたちの生き活きとした姿、表情の写真を出していただき、事務局の方で編集させていただきます。

松末副議長：

写真はどこで撮ったか、何の時の写真かといった詳細がわかったほうがいいですか。去年は写真1枚1枚に注意書きを入れていただきましたが。

事務局：

お手数ですが詳細を記入したうえで写真の提出をお願いいたします。また、地域の方々の写真になりますので、提出いただく際には、ご本人から写真を流していいかの確認をとられてから提出していただきますようお願いいたします。

松本議長：

では続きまして役割分担にうつりたいと思います。進行・企画班に今年度は新しくタイムキーパーの仕

事が入ります。

(話し合いの結果『映像作成・撮影班』は檜山委員。『進行・企画班』は司会として國友委員に、その他は平島委員と船越委員。『会場・アンケート作成班』は角森委員、井浦委員、上野委員と松末委員に決定。)

松本議長：

では、「4、その他」に移ります。各委員から、ということで、各委員さんからの連絡・報告・相談という時間を設けております。最初に、5月に学校教育グランドデザイン発表会がありましたので、そちらに参加された國友委員と松末委員から感想を含めて報告をお願いします。

國友委員：

これは私のイメージになりますが、一昨年前まではこのグランドデザインというのは年間計画の説明という感じでしたが、昨年度は一番力を入れて取り組むことに絞って発表されていました。今年は昨年と同じく一番力を入れて取り組むこと、重点目標について説明されており、どの発表も非常にわかりやすい内容でした。3中学校8小学校、11名の校長先生の中で4の方が新しく校長先生になられたという状況での報告でしたけども、どなたが新任の校長先生かわからないくらい皆さん力強い発表内容でした。やはりどの学校もPTCA、コミュニティを間に入れての取り組みをやっていきますという話はほとんどの報告に入っていました。これは最後長谷川教育長の言葉にあったんですけども、地域の応援なくしては学校経営は成り立たないというところで、コミュニティを含めた学校としての課題を把握して、学校の特色づくりに取り組んでいくということで、発表内容そのものがレベルアップしているなと感じました。年々本当に力を入れてうちはこれをやるんだというのがどの学校もわかりやすく話をされてました。学力や、働く環境づくりや、体力づくりなど、いい感じでここ2年ほど上がっているなと印象を受けた発表会でした。以上です。

松末副議長：

本当に今、國友委員が言われたように、私も最初のころのグランドデザイン発表会見に行ったときは、学力テストの結果の上がり下がりをととても強調されていて、それを荒木教育長から、テストの結果に一喜一憂するなという喝を入れられてらっしゃったことをとても印象深く前は覚えていました。その実態も把握しつつ、さらに将来子どもたちにどういう姿になってほしいのかという願いをととても感じる発表会でした。そして、映像的にも見やすく先生方も工夫されたなあと感じました。ただ資料が薄い字のところが見えにくくて、それを一生懸命自分が写すのが意味がわからなくなっているのがちょっと悲しい資料になってるんですけど、そうやって各学校を皆さん頑張ってくつってらっしゃって、中には初めてやっぱり校長先生になられた先生方が肩に力が入っていらっしゃって、現実と少し、上のほうを見てらっしゃるのかなっていうところも、ちょっと心配的に拝見したので、私は仕事的にはその学校をちょっと気をつけておこうかなっていうふうに思ってたところです。PTCAの取り組みをととても注目して当日聞きに行った

んですが、そこはさらっと伊丹指導主事が流されてPTCAで、古賀市版のコミュニティスクールとして文科省から認証いただきましたっていうさらっという説明だけでしたので、ここをもう少し地域におろして欲しいな、説明していただきたいなと思いました。毎年このグランドデザイン発表会があるというのを知っているんですけども、地域の方々にこれをおろす機会がなくてですね、せっかくPTCAになって、千鳥のコミュニティはずっと小学校は参加していただいているんですが、やっと中学校も校長教頭参加していただけるように、これをきっかけになりましたので、グランドデザインの発表を地域でもぜひしていただいて、目指す子どもの姿を共有しつつ、育てていけるといいなという、思いでうかがわせていただきました。以上です。

松本議長：

学校で子どもを育てるということと、地域で子どもを育てるということの連携ですね、そのあり方をとても大切にされているなと思いました。学校完結型の教育ではなくて、学校と地域と家庭の三者が力を合わせて子どもたちを育てていくほうが子どもの健全育成には効果があると自信をもって言われていたことが非常に印象的でした。井浦校長先生何か補足はありませんか。

井浦委員：

来ていただきまして本当にありがとうございます。わずか7分間で、今年1年の重点をとということでですね、私も校長も緊張しながらお話をさせていただきました。その中で今ちょっとお話がありましたけれども、PTCAコミュニティスクールということで動き出す中ですね、地域への説明をより充実させていくというのが、課題であろうと思っております。今古賀西は説明があったということですが、実は青柳小学校区にはコミュニティ協議会がないんですね。青柳だけありません。他のところにはすべてコミュニティ協議会がありますので、今年、PTCA総会のときに、地域の方、区長さんはじめ民生委員さんたちも全部声をかけて、学校運営協議会にあたる子どもの育ちを語る会っていうのを今までやっておりますので、その方々も、学校に来ていただいて、私はそこで説明をさせていただきました。それぞれの学校が、既存の組織をうまく使いながら今取り組みを始めておりますので、ご支援またいただきますようお願いできればと思っております。以上です。

松本議長：

それでは別件へうつりたいと思います。國友委員からお願いします。

(國友委員から角森委員、子どもの遊び方、NPO法人「ダイバーシティ工房」に関する新聞記事の紹介。松本議長から角森委員、古賀竟成館高校のアンビシャス運動表彰の新聞記事および県政報告の紹介。平成30年度糟屋地区社会教育振興会評議員会の報告。)

松本議長：

それでは事務局からお願いします。

(事務局から人権啓発事業における街頭啓発への参加および第38回古賀市同和問題を考える市民のつどいについて周知。8月、10月の社会教育委員の会議について事務連絡。)

松本議長：

教育部長からひと言をお願いします。

青谷教育部長：

今日はありがとうございました。わたくしも今回2回目ということで、いろいろと勉強させていただく部分も多々あるんですけども、まずは笑顔のつどいを無事に成功させるためにも、皆さんにご協力いただきたいと思います。また、社会教育委員としていろんな角度から市、教育委員会に対して、ご助言等ございましたら遠慮なくおっしゃっていただければと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

松本議長：

それでは終わりの言葉を松末副議長をお願いします。

松末副議長

お疲れ様でした。